

吉田寮の庭

吉田寮には広大な庭があります。春には虹色のじゅうたん、夏には濃緑の木々、秋には舞い散るイチヨウ、冬には枯れ葉に白い水仙。このページでは、そんな庭の、美しいだけではない実用的な一面をお伝えしましょう。

その1：採取 無料^{タダ}を好む人に向いています。

<春>

ヨモギ…もち米は高いので、小麦粉ヨモギだんごにして味噌汁に入れるのがお勧めです。タンポポ…花の伸びる前（重要！）に、スコップで抜きます。炒めると本当においしい。根っこはコーヒーにするといいのだそうです。ハルジオンと間違えないよう。ノビル…ネギに似た、ネギよりおいしい野菜です。翌年のために、取り過ぎないでね。

<夏>

ドクダミ…花の咲くころ、葉っぱを乾燥させてお茶にします。副作用もあるので注意。枇杷…市販のものよりこぶりですが、甘さは負けません。熟し加減を見極めるのが大切。

<秋>

銀杏…秋の主演です。くれぐれも外皮を素手で触らないこと、それから一度に食べ過ぎないこと。毒の成分を含んでいます。

マテバシイ…テニスコートの近くに生えています。生でも食べられ、ほんのり甘いです。ご飯と炊き込むと、まるで栗ごはんです。

<冬>

柿…渋柿ですから、熟熟になって地面に落ちるのを待ちましょう。カラスとの戦いです。

その2：栽培 地道な努力を好む人に向いています。

春に植えたじゃがいも・エンドウ・ハーブ等は豊作でした。しかし夏に植えた作物は虫には食われ、秋の台風にはなぎたおされ。秋冬は忙しくなって植えられませんでした。栽培はなかなか難しい。敵も多いです。とりわけ猫です。ふかふかした土が気に入ったのか、踏み荒らしたり、糞をしたり。柵で覆っても平気で乗り越えてきます。関係ない場所を耕してふかふかにしてみたり、猫が嫌うハーブを植えてみたりしましたが、猫の一番のお気に入りになった場所の栽培は諦めました。虫は、特に夏に要注意です。こまめに巡回し、雑草を抜く必要があります。芽をついばまれないよう、鳥にも注意が必要です。栽培は本当に難しい。

でも、むやみやたらと土を耕すときの爽快感、収穫できたときの喜びは格別でした。畑なら南寮裏が耕し易いのですが、まずは鉢植えからトライするのもいいと思います。詳しくそんな寮生や寮外生に聞いてみると、いろいろ教えてくれますよ。あなたの一年の食生活が豊かなものとなることを祈ります。